

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

参考値

(データ集約：9/30)

採取場所	1号機原子炉建屋上部① (カバー排気系フィルター入口) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部② (カバー排気系フィルター入口) (チャコールフィルタ)		1号機原子炉建屋上部③ (カバー排気系フィルター出口) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年9月3日 2時17分～3時17分		平成25年9月3日 10時53分～11時03分		平成25年9月3日 7時00分～8時00分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	7.6E-06	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-05	0.01	ND	-	ND	-	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/3>

参考値

(データ集約 : 9/30)

採取場所	1号機原子炉建屋上部④ (カバー排気系フィルター出口) (チャコールフィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑤ (カバー北西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑥ (カバー北東コーナー) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年9月3日 10時35分～10時45分		平成25年9月3日 6時23分～7時23分		平成25年9月3日 5時21分～6時21分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	5. 2E-06	0. 00	5. 3E-06	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	1. 2E-05	0. 00	1. 2E-05	0. 00	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/3>

参考値

(データ集約 : 9/30)

採取場所	1号機原子炉建屋上部⑦ (カバー南西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑧ (原子炉建屋オベフロ面開口部) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑨ (使用済燃料プール天井部) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年9月3日 7時24分～8時24分		平成25年9月3日 4時20分～5時20分		平成25年9月3日 3時19分～4時19分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	2.2E-06	0.00	8.1E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.8E-06	0.00	5.0E-06	0.00	2.0E-05	0.01	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。